

事業報告書

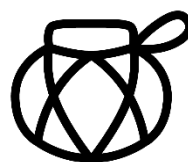
TAKETOMIJMA

REGIONAL

2024 年度

FOUNDATION

ANNUAL REPORT



一般財団法人
竹富島地域
自然資産財団

2024



目 次

ご挨拶	P 0 3
竹富島	P 0 4
決算概要	P 0 5～0 6
入域料収受実績	P 0 7
島内賛同事業所一覧	P 0 8
取り組み経緯	P 0 9～1 2
活動報告（地域計画概要）	P 1 2
（御嶽の森の植生調査）	P 1 3
（ゴミ問題の解決①）	P 1 4
（ゴミ問題の解決②）	P 1 5
（海浜清掃）	P 1 6
（島の現状活動のPR①）	P 1 7
（島の現状活動のPR②）	P 1 8
（島の現状活動のPR③）	P 1 9
（島の現状活動のPR④）	P 2 0
（その他）	P 2 1～2 2
広報事業	P 2 3～2 8
組織概要	P 2 9
寄付のお願い	P 3 0

ご挨拶

2024年度の一般財団法人竹富島地域自然資産財団年次報告書発刊にあたり、
ひとことご挨拶申し上げます。

昨年を振り返ると、スポーツ関係をはじめ文化面や学術面など様々な分野において、日本を明るく照らすニュースがたくさんありました。

しかし一方で世界のあちこちで続いている戦争や1年たった今でも復興が見えない被災地など、先の見通せないとても難しい時代を迎えています。

そうした中で、私たちは今年の6月に設立6年目を迎えます。

新たに見直された「第2次竹富島地域自然資産地域計画」を元に「懐かしい未来をつくる」という我々の最大の目標に向かって邁進していきます。

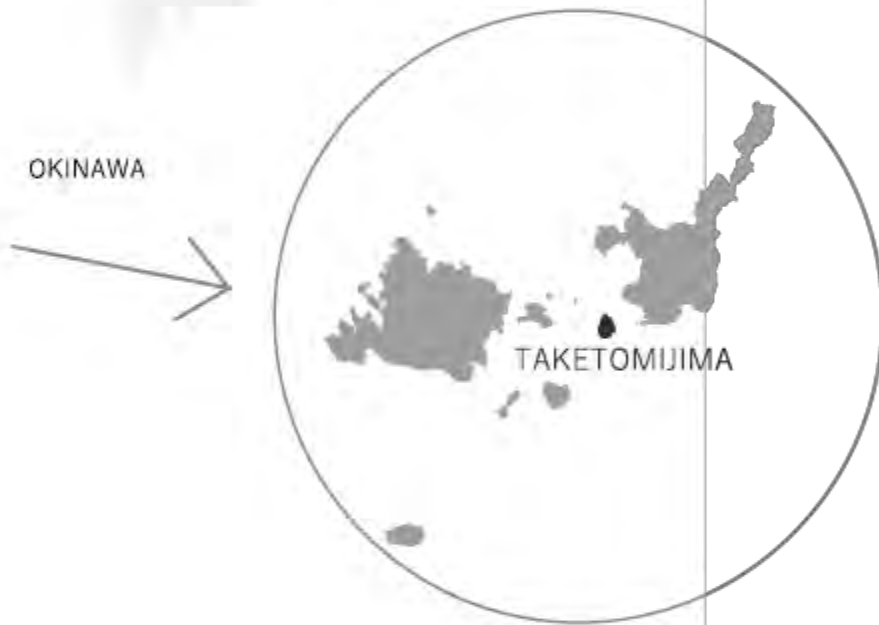
今年度は竹富町の訪問税が導入予定となっており、我々にとっても大きな変革が強いられる年になります。

これまでのやり方を変えるには大変なエネルギーが必要です。私たち自身も強い決意で臨んでいきますので、引き続き、ご理解ご協力を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般財団法人 竹富島地域自然資産財団

理事長 上勢頭 篤

Taketomijima



竹 富 島

竹富島は、東京から南西に約2000キロ、沖縄本島からも約400キロ離れた場所にある周囲9.2km、人口わずか360名程度の小さな島です。沖縄の原風景が色濃く残る集落に美しいビーチを求めて年間約50万人もの観光客が訪れており、島では近年、オーバーツーリズムや観光開発など多くの問題に頭を悩ませています。そこで私たちは、これらの問題の解決に望むべく、2019年5月 一般財団法人 竹富島地域自然資産財団を立ち上げました。当財団では来島者から入域料を募ることで島の保全活動や財団運営を行っています。

Financial Report

決算概要

貸借対照表

令和 7 年 3 月 3 1 日 現在

科 目	当年度		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,217,790		
未収金	880,200		
流動資産合計			12,097,990
2 固定資産			
■(1) 基本財産			
普通預金	3,000,000		
基本財産合計		3,000,000	
■(2) 特定資産			
トラス事業資産 普通預金	6,015,090		
トラス事業資産 土地	3,000,000		
特定資産合計		9,015,090	
■(3) その他固定資産			
什器備品	18,395		
機械装置	858,879	0	
その他固定資産合計		877,274	
固定資産合計			12,892,364
資 産 合 計			24,990,354
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	31,479		
預り金	50,101		
未払費用	315,000		
未払法人税等	70,000		
流動負債合計		466,580	
負 債 合 計			466,580
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
拠出金	3,000,000		
寄付金	1,686,145		
指定正味財産合計		4,686,145	
(うち、基本財産への充当額)		(3,000,000)	
(うち、特定資産への充当額)		(1,686,145)	
2 一般正味財産		19,837,629	
(うち、特定資産への充当額)		(7,381,720)	
正味財産合計			24,523,774
負債及び正味財産合計			24,990,354

Financial Report

正味財産増減計算書

令和 7 年 3 月 3 1 日 現在

科目	公益事業	収益事業	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入島料収入	9,445,500		9,445,500
受取補助金等	2,445,000		2,445,000
その他収入	626,500	828,186	1,454,686
受取寄付金	16,148		16,148
(一般寄付金	16,148		16,148)
雑収益	6,498	900	7,398
(受取利息	5,798	900	6,698)
(雑収益	700		700)
経常収益計	12,539,646	829,086	13,368,732
(2) 経常費用			0
事業費	6,837,055	569,371	7,406,426
(臨時雇賃金	1,022,035	318,290	1,340,325)
(旅費交通費	1,011,200		1,011,200)
(通信運搬費	74,128	547	74,675)
(消耗什器備品費	32,810	62,585	95,395)
(消耗品費	191,563	18,319	209,882)
(広告宣伝費	363,404	70,356	433,760)
(燃料費	21,700		21,700)
(光熱水料費	24,995	51,289	76,284)
(賃借料	973,280		973,280)
(保険料	218,790	14,375	233,165)
(支払寄附金	300,000		300,000)
(租税公課	7,967	563	8,530)
(委託費	1,505,200		1,505,200)
(新聞図書費	28,380		28,380)
(支払手数料	695,285	14,105	709,390)
(事務用品費	13,742		13,742)
(減価償却費	277,196	18,322	295,518)
(雑費	75,380	620	76,000)
管理費	5,036,472	332,902	5,369,374
(役員報酬	1,941,660	128,340	2,070,000)
(給料手当	1,800,960	119,040	1,920,000)
(諸謝金	83,576	5,524	89,100)
(法定福利費	641	42	683)
(会議費	17,063	1,128	18,191)
(旅費交通費	53,278	3,522	56,800)
(通信運搬費	115,414	7,629	123,043)
(消耗品費	122,747	8,113	130,860)
(光熱水料費	87,181	5,763	92,944)
(賃借料	236,376	15,624	252,000)
(事務用品費	69,647	4,604	74,251)
(租税公課	10,131	670	10,801)
(接待交際費	25,795	1,705	27,500)
(支払手数料	472,003	31,198	503,201)
経常費用計	11,873,527	902,273	12,775,800
当期経常増減額	666,119	△ 73,187	592,932
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	666,119	△ 73,187	592,932
法人税等		70,000	70,000
一般正味財産増減額	666,119	△ 143,187	522,932
一般正味財産期首残高	19,078,993	235,704	19,314,697
一般正味財産期末残高	19,745,112	92,517	19,837,629
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額			0
拠出金	0	0	0
トラスト寄付金等	48,145	0	48,145
当期指定正味財産増減額	48,145	0	48,145
指定正味財産期首残高	4,638,000	0	4,638,000
指定正味財産期末残高	4,686,145	0	4,686,145
III 正味財産期末残高	24,431,257	92,517	24,523,774

Financial Report

入域料收受実績

	入域観光客 (名)	入域料 (円)	支払数 (回)	収受率 (%)	備考
4月	33,538	1,043,700	3,479	10.4%	
5月	28,196	551,100	1,837	6.5%	
6月	25,934	725,400	2,418	9.3%	
7月	33,681	977,100	3,257	9.7%	
8月	41,834	752,100	2,507	6.0%	
9月	32,650	657,900	2,193	6.7%	
10月	32,364	695,400	2,318	7.2%	
11月	31,210	572,700	1,909	6.1%	
12月	27,716	809,700	2,699	9.7%	
1月	29,538	719,100	2,397	8.1%	
2月	29,477	823,800	2,746	9.3%	
3月	45,004	1,117,500	3,725	8.2%	



財団の活動は、入域料や寄付を頂いた方々に支えられています。
また、入域料の収受は島内企業や団体のご協力により行われています。
皆様の温かいご支援に対し、心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

入島券販売取扱事業所一覧

2025.02.28現在

民宿 泉屋	民宿 内盛荘	民宿 大浜荘	手作り工房 KUMA	アトリエ 五香屋
NPOたきどうん	民宿 小浜荘	高那旅館	茶屋たかにや	Bar 月灯り
新田観光	民宿 新田荘	星のや竹富島	アイランド	友利レンタサイクル

島内賛同事業所一覧

2025.02.28現在

民宿 泉屋	民宿 内盛荘	民宿 大浜荘	手作り工房 KUMA	アトリエ 五香屋
民宿 小浜荘	高那旅館	茶屋たかにや	Bar 月灯り	新田観光
民宿 新田荘	(有) 竹富島交通	喜宝院蒐集館	NPOたきどうん	丸八レンタサイクル
レンタサイクル竹富	ぼちサイクル	嶺本レンタサイクル	南西観光株式会社	内盛商店
海風〜シューカジ〜	若竹丸	やど家 たけの子	たきどうん	イナフク
とも倉	縄文や	アイランド	まうていや	竹富民芸館
民芸喫茶マキ	たるりや	そば処 竹の子	食事処 やらぼ	ガーデンあさひ
ひまわり	やまもり食堂	民宿 マキ荘	民宿 松竹荘	パーラーターミ
民宿 なかもり荘	Cago			
一日一組の宿 すかぶら	染織工房 Boo-House	HIMAWARI WORKS (株)	HaaYa nagomi-café	

※島内賛同事業所とは説明会等に参加して賛同書を頂けた事業所を指す

寄付者一覧

2025.02.28現在

ヤスカワ カイチ 様	コンドウ タケアキ 様	ヤスモト コウ 様	タマウチ ユカ 様
------------	-------------	-----------	-----------

物品寄付者一覧

2025.02.28現在

ミヤギ モモ 様	ウチモリ アサカ 様	Kotokoto 下田 様	サカイ マサユキ 様
オオハマシンイチロウ様	イノマタ ヒトミ 様		

Activities Results

当財団の活動は「地域自然資産法」に基づき竹富町が作成した「竹富島地域自然資産地域計画」に沿って行われています。

2024年度取り組み経緯

月	日	会議・周知広報	保全活動
4月	9日	竹富町長へ運営協議会 決議事項要請文提出	
	10日	地球環境基金事業 事前ミーティング	
	16日	地球環境基金担当者ウェブ会議	
	25日	地域計画改定会議	
	26日	環境DNAに関するウェブ会議 (沖縄県環境科学センター)	
5月	2日		財団借用地の清掃作業
	23日	御嶽の森調査 事前ミーティング	前本隆一さんヒアリング(伝統作物について)
	24日	御嶽の森調査 ミーティング	御嶽の森調査(仲筋御嶽、幸本御嶽) 前本隆一さんヒアリング(伝統作物について)
	25日	「御嶽の森」調査 小浜島の作物調査	
	27日	令和5年度事業 決算監査	
	28日		古材保管場所周辺の清掃 ビーチクリーン(星のや)
	29日	野良猫の避妊手術についての打合せ(沖縄獣医師会)	
	30日		崩れた石垣の積み作業
	31日		崩れた石垣の積み作業
6月	6日		余剰ペットボトルキャップの輸送 ダンボール6箱分(縄文企画)
	7日	「御嶽の森」調査 幸本宏助さんヒアリング	
	21日		漂着ゴミ輸送 トン袋10袋分
	26日	令和6年度 評議委員会	

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
7月	11日		事業者ゴミ分別作業
	26日	株式会社ゴールドウインとの包括連携協定締結式	
	31日	町長へ運営協議会要請文提出	ビーチクリーン(星のや共同)
8月	8日	浮島ガーデン来訪	
	9日		御嶽の森調査(仲筋御嶽) 事業者ゴミ分別作業
	10日		御嶽の森 毎木調査(仲筋御嶽)
	11日		御嶽の森 毎木調査(仲筋御嶽)
	14日		海洋漂着ごみ輸送
	21日		サントリーサステナビリティ経営推進本部 WEB会議 島内ゴミ問題の連携について(飲料用ペットボトル)
	28日		法政大学ヒアリング対応 オーバーツーリズムについて
9月	3日	新規 地域おこし協力隊受け入れ(松浦さん)	
	4日		龍谷大学経済学部 27名 竹富島の歴史についての学習
	7日	インターン生の受け入れ(京都大学)	島内井戸の水質調査(石西礁湖自然再生協議会、北里・琉球・熊本大学、地下水調査専門家)
	9日		旧与那国家住宅の活用 インタープリテーション(法政大学)
	10日		旧与那国家住宅の活用 インタープリテーション(法政大学)
	16日	地球環境基金事業 ワークショップ 高黍のフカンギ・フインのもち作り	
	18日	トラスト事業 新田長男さん所有地を300万円で購入 石垣港入域料券売機の不具合修理	
	21日		沖縄まるごとゴミ拾いin竹富島

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
10月	8日	地球環境基金 活動視察 取材対応	
	10日		星のや合同ビーチクリーン (カンナージ浜) トン袋2袋分と漂着廃冷蔵庫1台
	15日	旧与那国家住宅休館 主屋と畜舎の修繕	キャンギの苗回収(阿佐伊家)
	17日	旧与那国家住宅 耐震診断 協議会 打ち合わせ	
	18日	運営協議会	
	31日	コンドイ園地整備計画のヒアリング	
11月	5日	アップドリフト事業会議 減容器について 星のやパートナーシップ定例ミーティング	
	7日		ヤマップネイチャランス来島 入域料についてのヒアリング対応
	11日		入域料認知度アンケート調査終了
	20日		竹富町自然観光課 外壁等調査講習 財団事務所を使用
	29日	やいまSDGsシンポジウムブース出店準備	
	30日	やいまSDGsシンポジウムブース出店	
12月	9日	会計監察	
	10日	インターン生帰任 (京都大学)	
	12日		星のや合同ビーチクリーン 海藻清掃(カンナージ浜)
	17日		瓦下ろし作業
	27日	地球環境基金事業 琉球大学(陳先生、琉大生等)来島	御嶽の森植生調査(幸本御嶽)
	28日		御嶽の森植生調査(幸本御嶽)
	29日		御嶽の森植生調査(幸本御嶽) 御嶽の森ワークショップ、中間報告会 フクギの苗の植え付け
	30日		御嶽の森植生調査(幸本御嶽)

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
1月	8日		古瓦回収/瓦下ろし(石垣島 宮良家)
	10日		古瓦回収(貨物船積込/6パレット分)
	13日		島の子供へ環境教育事業 まちなみ館 てーどうんワークショップ
	17日		漂着ゴミ処分 (貨物船/8袋)
	22日	てーどうんフォーラム打ち合わせ	
	28日		星のや スタッフ研修
2月	1日	てーどうんフォーラム打ち合わせ	てーどうんフォーラム開催
	3日	コンドイ園地計画会議	
	4日	竹富町基本計画会議	
	10日	地球環境基金事業申請対応として 対応経験者の受け入れ(栗村さん) 15日迄	地球環境基金事業 助成金申請
	14日		中ヶ谷戸オフィス 松村正治さん 環境と観光についてヒアリング対応
	15日	地球環境基金対応経験者 栗村さん帰任	てーどうんジャーナル配布
	20日		事業者ゴミ分別
	26日		クージバライ ワークショップ
3月	5日	竹富町基本計画会議	
	19日	第13回竹富島地域自然資産運営協議会	
	31日	玉木地域おこし協力隊退任	

竹富島地域自然資産地域計画概要

目 的

- 1.亜熱帯の自然と島民の暮らしが育んだ竹富島の貴重な生態系と農村集落景観を保全・再生します。
- 2.目的1を達成するための調査研究、技術の継承、人材育成を推進するとともに、必要な協力体制と財源を確保します。

事業内容

①生態系と農村集落景観の保全・再生事業

◆島民の暮らしによる自然利用（生活、農業、文化等）の継承・復活事業

- ◇植生維持・再生 ◇耕作地再生 ◇水辺再生 ◇景観維持・美化
- ◇海域再利用 ◇自主利用ルール制定・実施

◆外来生物駆除・島の暮らしと関わりの深い植物の植栽による生態系再生事業

- ◇外来生物駆除 ◇植生再生

②調査研究、技術継承・人材育成、協力体制構築事業

◆調査研究、モニタリング事業

- ◇陸域生態系の調査研究 ◇海域・海岸生態系の調査研究
- ◇島材の利活用方法の調査研究 ◇地域自然環境保全等事業の効果検証

◆技術継承・担い手育成事業

- ◇自然環境保全活動技術継承・リーダー育成
- ◇島材活用技術継承・リーダー育成 ◇島の自然と文化伝承者育成

◆周知・広報事業

- ◇広報誌発行 ◇ホームページによる周知・広報
- ◇注意・案内板の設置 ◇協力要請・島内案内ポスター・チラシ等の発行

島民の暮らしによる自然利用 (生活、農業、文化等)の継承・復活事業

植生維持・再生

御嶽の森の植生調査

目的：環境変化や経年劣化。行政サポートや住民意識の低下により御嶽の森や防風林の植林が減少しているため、データの取得及び管理など、島民だけでなく専門家も交えながら長期的に意味のある指標を見出す。

活動：3か年を通じ六山を中心とした全9つの御嶽の植生調査を行うため、今年度も引き続き琉球大学の陳先生を講師に迎え、仲筋御嶽、幸本御嶽の毎木調査を行いました。木々の太さや高さといった測量分析、日当たりや風通しなどを含めた空間としての管理が適切かどうか、シロアリのように植物にとって悪影響な要素があるかどうかなど、いくつかの項目を重点的に調査し、12月と2月には調査報告会も行いました。



島民の暮らしによる自然利用 (生活、農業、文化等)の継承・復活事業

島の自然と文化伝承

伝統作物の継承と復活

目的：環境変化や経年劣化。行政サポートや担い手不足の減少、農作放棄地の増加に伴い、祭祀にまつわる伝統作物の未来が危惧される。栽培や利用に関するデータ、技術などの継承及び管理など、島民だけでなく専門家も交えながら長期的に意味のある指標を見出す。

活動：地球環境基金助成事業として、沖縄雑穀組合 組合長の中曽根直子さんをお迎えし、伝統作物の調査を行いました。5月から8月にかけてヒアリング調査と、9月には前本隆一さんを講師に迎え、昔ながらの手法を用いた十五夜のもちづくりを実施しました。また、2月にはてーどうんフォーラムにて調査報告会を行いました。



島民の暮らしによる自然利用 (生活、農業、文化等)の継承・復活事業

島の自然と文化伝承

伝統文化の継承

目的：環境変化や経年劣化。昔ながらのまちなみと景観を保全するため、家屋などの不要になった古材の回収を行い管理し、活用する。

活動：時代と共に需要の変化と技術、材料が進化し、当時の赤瓦は現在では製造されなくなりました。町並み保存の観点から古材回収を行うにあたり、解体予定の古民家の家主にご許可いただいたものから、今年度は、石垣島、竹富島内より古い赤瓦の回収を行い、保管しています。また、島内の葺き替え工事に参加した際に回収した古瓦は、仲筋集落での家屋にて利用される予定です。



ゴミ問題の解決

目的：竹富島ではゴミ処理施設の対応能力オーバーという問題から、ほとんどゴミ箱の設置がない。これまで来島者の方々へはゴミの持ち帰りを推奨していたが、ポイ捨てが散見される上、ゴミを拾った方が捨てる場所もないという問題点もありその解消のためゴミ箱の設置と環境保全の啓蒙を行う。

活動：家庭内で出たペットボトルの蓋を回収するためまちなみ館と各支会の会館に回収箱を設置しています。回収した蓋は、専門の事業者と連携し、島外でアップサイクルされる取り組みも開始しました。また、財団で設置している港ゴミ箱の分別作業は財団関係者だけでは手が足りず、各観光事業所に声をかけ、観光客が増加する夏場を中心に、一緒に分別作業を実施しました。



2024年度 財団港ゴミ箱 総分別数
(2024年4月～2025年1月)

・ ペットボトル	644袋
・ 紙類	67袋
・ ビニール	170袋
・ カン	88袋
・ ビン	11袋
★総合計	980袋

総作業時間： 126時間

景観維持・美化

海浜清掃

目的：竹富島は3つの集落に分かれている。それぞれの集落が担当する海浜エリアがあり、定期的な清掃作業を行っているが、間に合わないほどの海洋漂着ゴミが流れついている。景観だけでなく生物や環境への負荷を軽減するためにも海浜清掃を行う。

活動：今年度も隔月で星のや竹富島との合同ビーチクリーンを実施しました。開催時は星のやスタッフさんが積極的に呼びかけてくださるため、平均10名ほどで行っています。今年度は、漂着ブイや漁業網だけでなく、漂着冷蔵庫を回収するほか、打ち上げられた海藻の掃除も行いました。

また、沖縄まるごとゴミ拾い実行委員会主催の沖縄県SDGs推進・普及イベント「みんなでSDGs!」に参加し、竹富港にてビーチクリーンを実施しました。



周知・広報事業

協力要請・島内案内ポスター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR①

目的：財団の活動をより広く周知するため、島外でのリレーション構築及び広報活動を行う。

活動：昨年に引き続き、八重山でサステナブルな事業に挑戦しているユース世代・環境団体・エコツアー事業者・物販・飲食・農畜産業者など多様なメンバーが一堂に会し、地域を支える事業を次々に生み出し続けるプラットフォーム作りを目的としたイベント「やいまSDGsシンポジウム」に出展しました。屋外ステージや出店団体など、地元の子供たちが活躍する場が増えたことで例年を大幅に上回る来場客数で盛り上がりを見せました。SDGsに関心のある来場者も増えたこともあり、財団のブースに立ち止まる方も多く、よいアピールの機会となりました。



協力要請・島内案内ホスター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR②

目的：来島者や島民が活動への理解を深められるよう、1つの手段にとらわれることなく、複数のツールを利用して入域料の収受を行う。

活動：今年度も引き続き、300円を入れると漂着ごみで作成された「海亀キーホルダー」や島野菜の種が入った「竹富島のタネ」が出てくる「竹富島入域料ガチャ」を、丸ハレンタサイクル、友利観光に設置しています。丸ハレンタサイクルは修学旅行など団体利用が多く、積極的な呼びかけも行っており、お土産としての人気も高く、何度も回す学生の姿も見受けられました。また、返礼品として利用している「竹富島方言ステッカー」や入域料の用途がわかるパンフレット作製、財団季刊紙の配布など観光客への財団の活動周知に力を入れています。



周知・広報事業

協力要請・島内案内ホ°スター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR③

目的：財団の活動をより広く周知するため、島内でのリレーション構築及び広報活動を行う。

活動：昨年、旧与那国家住宅にて開催された「星の砂の話展」に引き続き、言語学者の中川奈津子さん、イラストレーターの山本史さんが来島され、「てーどうん島の宝探しワークショップ」を行いました。島の植生を観察しながらてーどうんむにを学んだり、散策で見つけた葉っぱを使い、切り絵や、こすり出した色で着色して生き物を描いたり、全身で島を感じるイベントとなりました。



協力要請・島内案内ポスター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR④

目的：主に来島者（観光客）に責任ある観光を理解してもらうため、島内やSNSだけでなく石垣の離島ターミナルや竹富町役場内においても周知活動を行う。

活動：これまで、財団HPやSNSでの発信、島内でのアナウンスを実施してきましたが、なかなか竹富島の暮らしや文化について理解を得られない状況が続いているのが現実です。そのため、離島ターミナルや竹富町役場内のデジタルサイネージを活用して、入域料協力への周知を行っております。今年度は島の現状を数値化したデザインのポスターにリニューアルし、更なる理解に向けて活動しております。一方で、入域料への興味関心を持ってくれる来島者も一定数は見えてきており、そうした方々に向けて、入島料の利用方法を紹介する財団のパンフレットを離島ターミナルに設置しています。

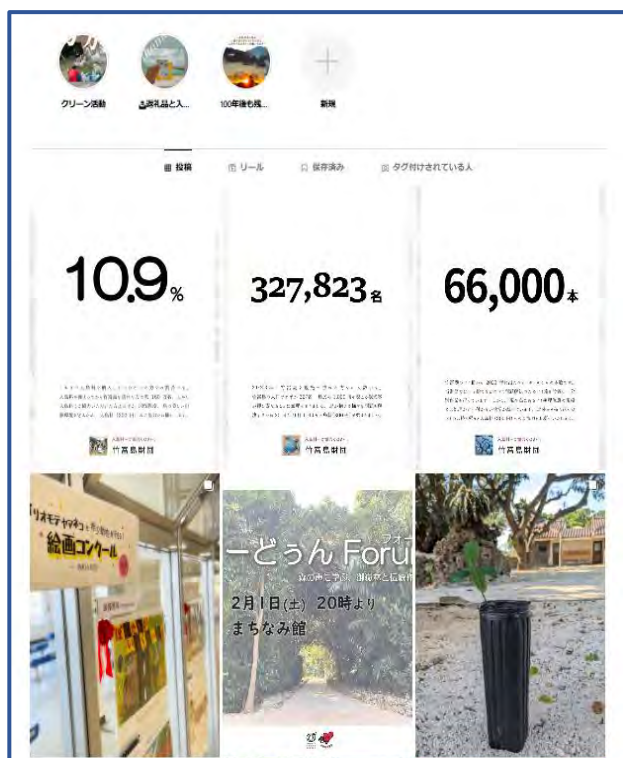


島の現状活動のPR⑤

目的：定期的な更新でホームページを見たくなるような仕組みづくりを目指す。また日本語以外での多言語表記を行う。SNSを通して、スピード感のある財団の情報発信を行う。

活動：財団ホームページとSNS（Instagram・Facebook）では定期的な活動レポートの更新を行っています。ホームページでは、日々の活動の中でもメインになるような活動をピックアップして、定期的に更新を行っています。今年度も引き続きSNSでの情報発信を行い、150名以上の新規フォロワーを得ることが出来ました。

SNSを通して、財団の活動に興味を示し問い合わせをくださる学校や企業も増えてきており、今後の活動の広がり期待しています。



重要文化財の管理

旧与那国家住宅の活用

目的：国の最西端の重要文化財建造物であり、伝統的建造物群保存地区の核となる住宅「旧与那国家住宅」の管理と活用を行い、住宅としての適切な保存活動に努める。

活動：日々の開閉館作業に加え、敷地の清掃や入館料（300円／名）の管理、解説パネル、パンフレットの設置などを管理業務として行っています。

（伝建工事に伴い2024年10月より2025年3月まで閉館予定）

今年度は、大学のゼミ旅行の一貫で歴史や文化を学びたいという問い合わせが多数あったため、インタープリテーションでの活用に注力し、龍谷大学、法政大学などから学びに訪れた学生を受け入れました。



Public Relations

島内季刊紙（B4）

2024年入島料収受実績

入島券販売数

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売数	3,198	3,033	3,560	3,402	1,037	2,391	2,730	2,434	2,146	3,114	1,955	4,539

■入島券販売数 1,188 3,022 3,560 3,402 1,037 2,391 2,730 2,434 2,146 3,114 1,955 2,338

お知らせ

入島料ポスターがリニューアルされました。あえて写真を使わず、一枚一枚異なる文字列や数字を打ち出すことで、島が抱える問題点が表現できたらというインタナショナルの発案が形になりました。石垣港健康ターミナルに掲載していますので、是非ご覧ください。

〒907-1101
沖縄県八重山郡竹富町字竹富207-1
TEL 0980-85-2800 FAX 0980-85-2801
MAIL info@taketonjima.okinawa

竹富島地域自然資源財団 機関誌

てーどろん JOURNAL

2025年1月 第47号

竹富島では、そんなに遠くない昔、あまり便利とは言えないけれど、自然体で暮らせる心豊かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、忘れてしまったものを取り戻すべく活動を始めてまいります。

報告会

03 フクギの苗植付

自然環境保全事業の一環として、フクギの育苗ワークショップを行いました。造形大学の先生方の助言を聞きながら島の子どもたちと一緒に苗の植付を行いました。用意した育苗ポットは通常の倍以上の高さがある2.5cm、太くまっすぐ下に伸びる直根のフクギならではの専用ポットです。子どもたちが一生懸命植えてくれたフクギは、財団事務所大切に育てられ、必要な場所へ植え替えをしていく予定です。今後も引き続き専門家の方の意見をとり入れながら、様々なワークショップを開催する予定です。

ワークショップ

ン（もろこし）のおもちを、調理法を用いた再現に挑戦していたのにフクギの苗を植える組合の組合長をはじめ参加者を行いました。本講座につきましては、2月に行われたフォーラムにて詳細な報告をさせて頂きました。これを踏まえ、来年度に活かし継続していく予定です。現在、今後のレシピをまとめた報告書を作成中ですので、ご興味のある方は財団スタッフまでお声がけください。

04 古瓦の回収

石垣島の御嶽家で赤瓦下ろし作業があるという情報を聞きつけ、古瓦の回収に行きました。屋根をメインに屋根裏部分（6バレット）の赤瓦を下ろし竹富島へ運搬。回収した瓦は木材利用のために財団で保管をしています。

05 てーどろん島の宝探しワークショップ

国立国語研究所主催で昨年の「里山の祭典」に続き今年は「てーどろん島の宝探しワークショップ」が行われ、財団もお手伝いをしてきました。島の子どもたちを中心にたくさんの方が参加し、自然の中でてーどろん島を学んだり、みつけた宝で絵を描いたり、五感でいっぱい竹富島を楽しんでいました。

（2025.2月発行）

御嶽の森報告会/フクギワークショップポスター

各御嶽関係者の皆さまへ

100年先もつづく御嶽の森

有用樹や在来種を学ぶ

仲筋御嶽を中心に行われた毎木及び、生態系の調査のご報告と、御嶽の森の未来につながる手入れの仕方を教わります。

日時 12月29日(日) 9時から

会場 旧保育所、仲筋御嶽、幸本御嶽

講師 島仲 彌喜さん
陳 碧霞先生
琉球大学農学部附属産熱等フィールド科学研究センター准教授

指導員 安里 昌弘さん、外間 聡さん

旧保育所屋内	仲筋御嶽の森にて	幸本御嶽の森にて
9:00 仲筋御嶽の森 調査報告	10:00 ワークショップ 手入れの実践	11:00 毎木調査 実習体験

年末のお忙しい時期かと存じますが、ぜひご参加ください。
※参加謝礼金がございます。お振込先の方かものをご持参ください。

〒907-1101
沖縄県八重山郡竹富町字竹富207-1
TEL 0980-85-2800 FAX 0980-85-2801
MAIL info@taketonjima.okinawa

フクギの苗を育てよう

がっ ちに ちに
12月29日(日)
15:00~

がっこう にしもん おつ
学校西門に集まれ〜〜！

フクギの芽がすくすく育つように
ポットへ植え替えをします。
みんなで未来のフクギを育てよう！

参加費：無料
対象：小中学生

〒907-1101
沖縄県八重山郡竹富町字竹富207-1
TEL 0980-85-2800

Public Relations

てーどうんフォーラムポスター/SNS告知

てーどうん Forum フォーラム
森の声に学ぶ、御嶽林と伝統作物の今

日時 2月1日(土) 20時より
会場 まちなみ館

スケジュール	講師
19:30 受付開始	チェン・ドンシャ 陳 碧霞 先生 琉球大学農学部付属農林部フィールド科学 教育研究センター准教授
20:00 ご挨拶とご報告	なかそね なおこ 中曾根 直子さん 沖縄農産主産者協会 協会長 生産者研究家
20:15 祭祀にまつわる伝統作物	やなか しげる 家中 茂さん 琉球大学地域学専任教授
20:45 御嶽の森の調査報告	せきもり あずさ 関森 梓さん 環境省 沖縄奄美自然環境事務所 石垣自然保護官事務所 自然保護官補佐
21:25 総評と来年に向けて	
22:00 閉会	

※19:15
沖縄県庁前山麓公園(花城御嶽) 277-1
Tel: 0980-85-2800

てーどうん Forum フォーラム
森の声に学ぶ、御嶽林と伝統作物の今

日時 2月
会場 まち

てーどうん Forum フォーラム
森の声に学ぶ、御嶽林と伝統作物の今

御嶽の森の今：講師

てーどうん Forum フォーラム
森の声に学ぶ、御嶽林と伝統作物の今

伝統作物の今：講師
なかそね なおこ
中曾根 直子さん
沖縄農産主産者協会 協会長
生産者研究家

※19:15
沖縄県庁前山麓公園(花城御嶽) 277-1
Tel: 0980-85-2800

クージ払いワークショップポスター

クージバライ

“御嶽の森”の管理に関するワークショップのお知らせです。
巻き付きや遮光などで有用樹の成長を阻む植物に対しての、
適切な管理について学びます。

日時 2月26日(水) 9時から
会場 花城御嶽
講師 内盛 正亀
御嶽 上野 寛 バブ出ます
管理者 長靴はいて来てね
持ち物 ガシ(鎌)

スペースに限りがございますため、ご参加の際は
御嶽へのご配慮を頂きますようお願いいたします。

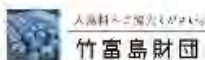
※19:15
沖縄県庁前山麓公園(花城御嶽) 277-1
Tel: 0980-85-2800

Public Relations

入域料周知ポスター

66,000^本

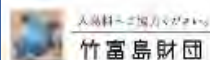
竹富島のゴミ箱は、2023 年に出入域料を定める本数です。当財団ではゴミ捨て場の問題解決のため、ゴミ箱を設置し、分別作業を行っています。しかし、現在島にあるゴミ処理施設の足場では処理が追いつかない状況が続いています。島外から持ち込んだゴミの処理も輸入料(300 円)へのご協力をお願いします。



327,823^名

0.9%

竹富島を観光で訪れた方々の人数です。これは約 327 名。島の約 1,000 名を超える観光客に比べ低減がありました。島が抱える様々な問題を解決するため、出入域料(300 円)のご協力をお願いします。

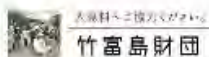


327
+) 146000

竹富島の人には約 327 名、島の観光客や関係者は約 146,000 名の方々が竹富島を訪れるため、輸入料(300 円)のご協力をお願いします。私たちと一緒に島の守り手になっていく方法、観光客と関係者も一緒に竹富島の未来を支えたいと思います。

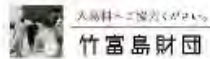


島外へ移入していただく方々の割合です。約 327 名の方々が約 146,000 名の方々に比べて約 10%程度、島の環境に貢献するため、出入域料(300 円)のご協力をお願いします。



ゴミ箱の設置
生態系の調査
外来種の駆除
防風林の植林
島の清掃

現在、出入域料で行っているゴミ処理は余裕があります。竹富島の人々は島の自然に寄り添いながら生活しています。自然に寄り添いながら自然を守り、10 年、20 年、100 年と続いていくよう、出入域料(300 円)のご協力をお願いします。



入域料説明用パンフレット（巻三折りCDジャケットサイズ）

懐かしい未来をつくる

竹富島の人々は島の自然に寄り添いながら生活しています。島の代名詞となっている沖縄の伝統的な可なりな自然と人々の暮らしとの関係において培われてきました。祖先より受け継ぎ傳へてきた自然や祭事、伝統工芸や可なりな生活を10年後、20年後…100年後と残していくべく人々の協力をお願いしております。

竹富島財団の活動(例)

あふれかえる「観光客のゴミ」

竹富島財団ではゴミの分別を促すために、問題解決のため、竹富島にゴミ箱を設置しています。ゴミは毎日回収し、週に1度島内観光事業協会の船を介し、お片付けをしています。夏休みなど繁忙期になるとひと月で12,000本を超えるペットボトルが捨てられており島内のゴミ処理施設でも処理が追いついていない状態です。

竹富の海をより美しく

竹富島財団では自然体験や大中小のグループ、一泊二泊の一週間という竹富のきれいな海で海洋学習とビーチクリーンを実施しています。環境教育プログラムを実施しています。

竹富島の歴史を伝える

竹富島で最も特徴的である歴史。その歴史を守るために近代、戦後、海外からの影響を受けています。そこで財団では歴史館を建てる、100年後につなげる本格的な歴史館を建てています。

東西洋の重要な文化財建造物

竹富島の歴史に位置する「田舎館(文化財)」は沖縄の伝統的な民家のスタイルで建てられた竹富島が1891年に建てられた伝統的な民家建築の宝庫の域となる住宅で当財団で管理をしています。

うつみチケット

うつみチケット(入場料)は石垣港のターミナルから竹富港のかりゆし館の券売機にてご購入いただけます。『入場料』のノボり紙自印です。まずは画面にタッチ!!「うつみチケット」を手に入れなら是非かりゆし館のカラッパ・チャッパや館のおばあ手作りの土ま玩具(数蔵院)など記念品をプレゼントしています。

石垣港と竹富港に設置された券売機

忘れ品として記念品や土ま玩具(数蔵院)をプレゼント

トラスト活動

入場料の活用

近年、竹富島ではリゾート地・観光地化が進み、観光客が増えています。住民の同意を得ずに開発を行おうとし、海外企業や不法業者が買っている土地も目立っています。そこで竹富島から頂く入場料の1/3以上を「トラスト活動(土地の買い直し)」に活用させていただきます。

一般社団法人
竹富島観光
財団 数蔵院

住所

〒907-1101
沖縄県八重山郡竹富町竹富207-1

理事長

上勢 謙

TEL

0980-85-2800

FAX

0980-85-2801

MAIL

info@taketomijima.okinawa

<https://taketomijima.okinawa/>

竹富島観光財団

入場料でなにをするの?

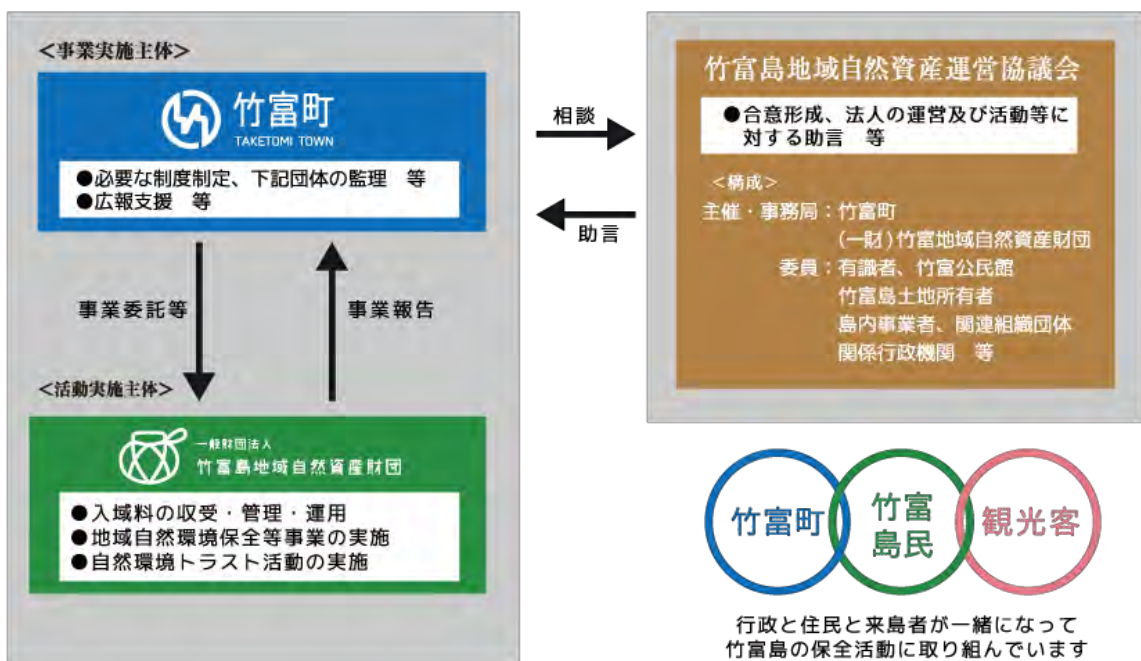
UTSUGUMI GUIDE

一般社団法人
竹富島観光財団 数蔵院

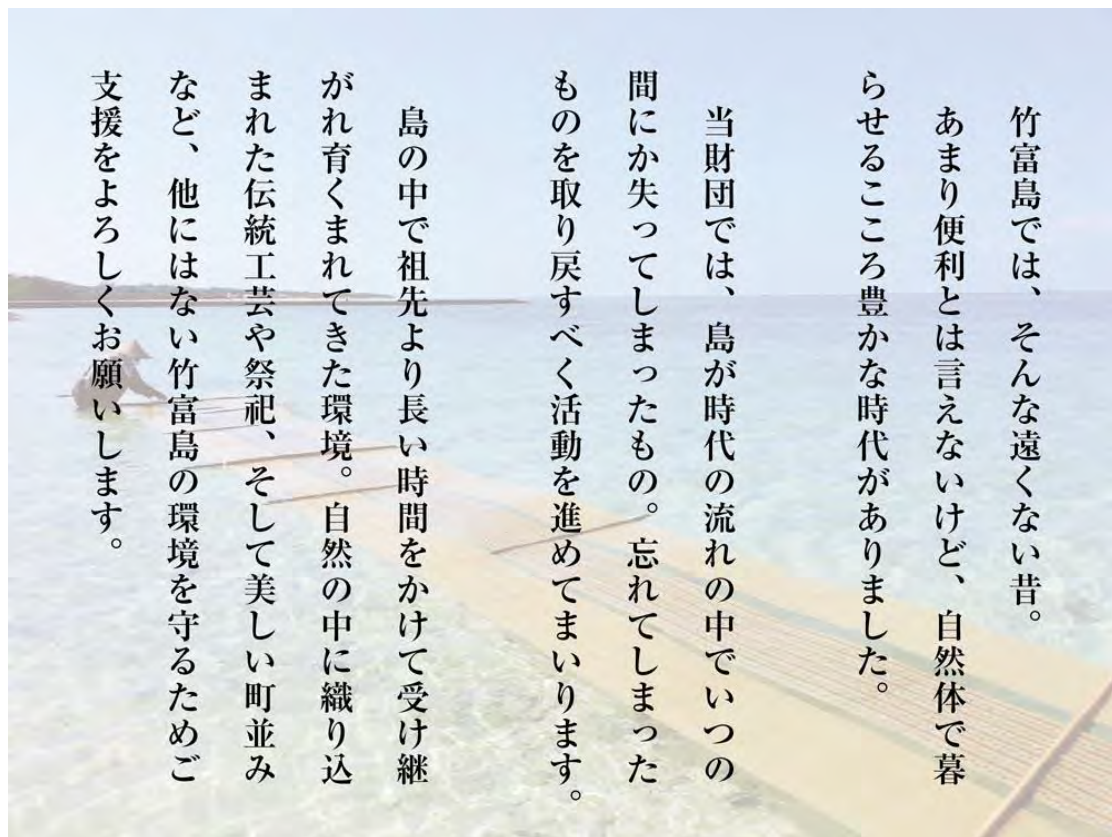
組織概要

名 称	一般財団法人 竹富島地域自然資産財団
設 立	2019年5月30日
所在地	〒907-1101 沖縄県八重山郡竹富町竹富207-1
目 的	この法人は、『竹富島憲章』を遵守し、竹富島地域自然資産保全区域における自然環境の保全及び持続可能な利用の推進のために活動し、島民の心身の健全な発達及び自然環境と文化の保全に寄与し、地域社会へ貢献することを目的とする。
役 員	●理事長：上勢頭 篤 ●常務理事：市瀬 健治／水野 景敬 ●理 事：井上 寛文／上勢頭 輝／上勢頭 巧 上勢頭 立人／内盛 正基／大浜 信一郎 前本 由貴子 ●評議員：内盛 正聖／内盛 良枝／大山 榮一 島 仲 彌喜／野原 健 ●監 事：阿佐伊 拓／大 政司

※50音順



Donation



竹富島の環境保全活動のために 寄付をお願いします

寄付の方法

下記申し込みフォームまたは、寄付申込書でお申し込み後、当財団指定の銀行までお振込をお願いいたします

寄付申し込みフォーム

<https://taketomijima.okinawa/dons/donsform>

FAXまたは郵送での申し込み

<https://taketomijima.okinawa/wp/media/format.pdf>

お支払い方法

銀行名	琉球銀行	支店名〔店番号〕	八重山支店〔703〕
口座種別／口座番号		普通預金／1020723	
口座名義		ザイ) タケトミジマチキシゼンシサンザイダン 一般財団法人 竹富島地域自然資産財団	

